

## まちへの愛着を育む取組について

### 1 教職員研修での取組

#### (1) 初任者研修～フィールドワーク～

子どもたちが校区や地域に愛着が持てるような視点を持った学習活動を効果的に進めることができるよう、初任者を対象とした研修で、まずは教師が明石の自然や歴史などについて学ぶフィールドワークを実施している。フィールドワークでは、歴史的遺構や地理等について現地を巡りながら専門家による解説を聞いて知識を得るとともに、初任者が自分の勤務する校区の魅力を見出そうとするきっかけづくりの機会としている。なお、本年度は歴史・地理に加えて、自然環境も視点として実施する。

#### (2) あかし若手教師塾～ふるさと明石学～

年間6回の勤務時間外自主研修『あかし若手教師塾』の中で、毎年1回を「ふるさと明石学」として郷土学習をテーマとして実施している。

#### <参考>

	初任者研修 ～フィールドワーク～	あかし若手教師塾 ～ふるさと明石学～
2019	野々池周辺	計画中
2018	明石城公園、人丸山周辺 他	築城400年！明石城の謎に迫る
2017	明石城公園、明石川下流 他	天文科学館完全攻略ツアー
2016	江井島、二見、清水方面	学校で教えたい明石の歴史！
2015	谷八木、江井島、錦浦方面	知っていますか 明石の戦災

### 2 小学校の授業での取組

#### (1) 小学校社会科副読本「わたしたちの明石」

小学校社会科副読本『わたしたちの明石』は、教科書に準じて用いられる補助的な資料（143ページ）である。

小学校第3学年においては、主に市を中心とする地域社会について学んでいる。

- ・平成30年度から明石市は中核市となり、これまで以上に市民の暮らしや生活に寄り添った「やさしいまちづくり」を市が進めようとしていること。
- ・新しくできた施設として「あかし動物センター」「あかし保健所」「明石こどもセンター」についても触れ、これらの施設の役割についても学ぶことができる。
- ・明石市制100周年、明石城築城400周年を記念した特集ページを掲載し、身近な地域や自分たちの市の様子の学習に活用している。

※前記について、子どもたちがしっかり理解することで、明石のまちに対する誇りと愛情を養い、地域社会の一員としての自覚を育む内容としている。

また、第4学年においては、主に都道府県を中心とする地域社会に関する内容を学ぶが、同様に兵庫県について学ぶために、この副読本を活用している。

### 3 市制施行 100 周年記念での取組

#### (1) 市制施行 100 周年記念事業シンボルマークの決定

「明石市制施行 100 周年記念事業シンボルマーク」の最終審査として、明石の将来を担う、市内小学生による投票によって採用作品を決定。

投票期間：2018 年 11 月 26 日から 12 月 10 日

投票総数：12,988 票



#### (2) 100 周年記念本の作成

明石の歴史まんがや各小学校区の紹介、まちの地域資源を盛り込んだ児童向けの記念本（A5、116 頁）を発行する。各小学校区のページは 5 年生へのアンケートを反映している。11 月中に全児童に配布するとともに図書館やコミセンなどの公共施設にも配置する。

#### (3) B-1 グランプリ in 明石 おもてなしメッセージカード募集

市内の小学生を対象に「B-1 グランプリ in 明石」への全国からの来場者に向けた、「ようこそ明石へ」の気持ちを込めたメッセージを募集。寄せられたメッセージは B-1 グランプリ in 明石の当日に、会場に掲出し来場者をお出迎えする。

#### (4) 明石市制 100 周年記念給食の提供

市制 100 周年を迎える 2019 年 11 月 1 日に合わせ、児童生徒及び保護者等に、より一層明石のことを知ってもらう契機とするため、小・中学校給食で記念献立（鯛料理、赤飯など）を提供する。

### 4 その他

#### (1) あかしこども新聞の発行（別添参照）

明石の小学 4～6 年生がレポーターとなって取材活動を行い、明石の魅力を紹介する「あかしこども新聞」を毎年発行（今回で 5 回目）。

9 月 15 日号の広報あかしと併せて新聞折り込みをするとともに、全児童に配布している。